

事故報告書

なんば広場マネジメント法人設立準備委員会

8月15日～17日開催のドライゼロアイスキャラバンにて、設置した木板を通行人が踏み抜いて側溝にはまった事案が発生いたしましたのでご報告いたします。

- (1) 発生日時：2025年8月15日（金） 13時27分頃
- (2) 発生場所：なんば広場 東側
- (3) 発生内容：設置した木板を通行人が踏み抜いて側溝にはまった

(4) 経過

- ・13時27分に、照明柱から電源をとり側溝内を這わすために側溝に設置していた板（木製）が割れ、歩いていた方（海外の方）の足がはまり擦り傷の怪我をおった
- ・主催者にて、冷やすなどの対応ののち、その方は去った。
- ・14時時点において、電源をとっている照明柱付近をコーンバーで囲い、安全対策を行っている
- ・15日19時50分に電気配線及び周辺の養生は撤去した。

(5) 発生の原因（当該の板の設置に至った原因）

準備委員会と主催者の間で、十分に電源計画の確認できていなかったこと。

- ① 準備委員会は本催事で大容量の電気（原因：テント内のクーラー）を使用することが事前に確認できていなかった
- ② 主催者で広場の照明柱の電源容量が小さいことを認識できていなかった（準備委員会からは説明済）
- ③ 催事遂行に必要な電気をイベント会場内で賄うことができないことが直前に発覚した（準備委員会は、会場内の照明柱から配線するよう指示した認識でいたが、立会時に主催者側から会場外の照明柱からの配線が必要である話があった。）

結果的に催事遂行のため、主催者にて広場東側の照明柱から養生等を行った上で、照明柱より電気を会場内に引いたが、その際に側溝を覆うために蓋として使用した木板を通行人が踏み抜いて側溝にはまった。

(6) 今回のイベントでの対策

- ・会場外の照明柱からの電気の使用はとりやめ、16日・17日の催事については大阪市及び準備委員会立会のもと遂行する。

(7) 今後の対策

- ・電源使用計画について、事前に詳細の確認を行う。
- ・確認の上で、照明柱を使用する際には、引き込み計画・安全対策を協議・申請内容に含める。
- ・申請後の相当な理由のない変更については認めず、主催者による一方的な変更があった場合はイベント中止を指示するとする確認書を主催者から申し込み時点で代表者の記名・捺印付で受領する。
- ・開催開始前の時点で、申請通りの内容となっているかを準備委員会にて現地確認を行う。

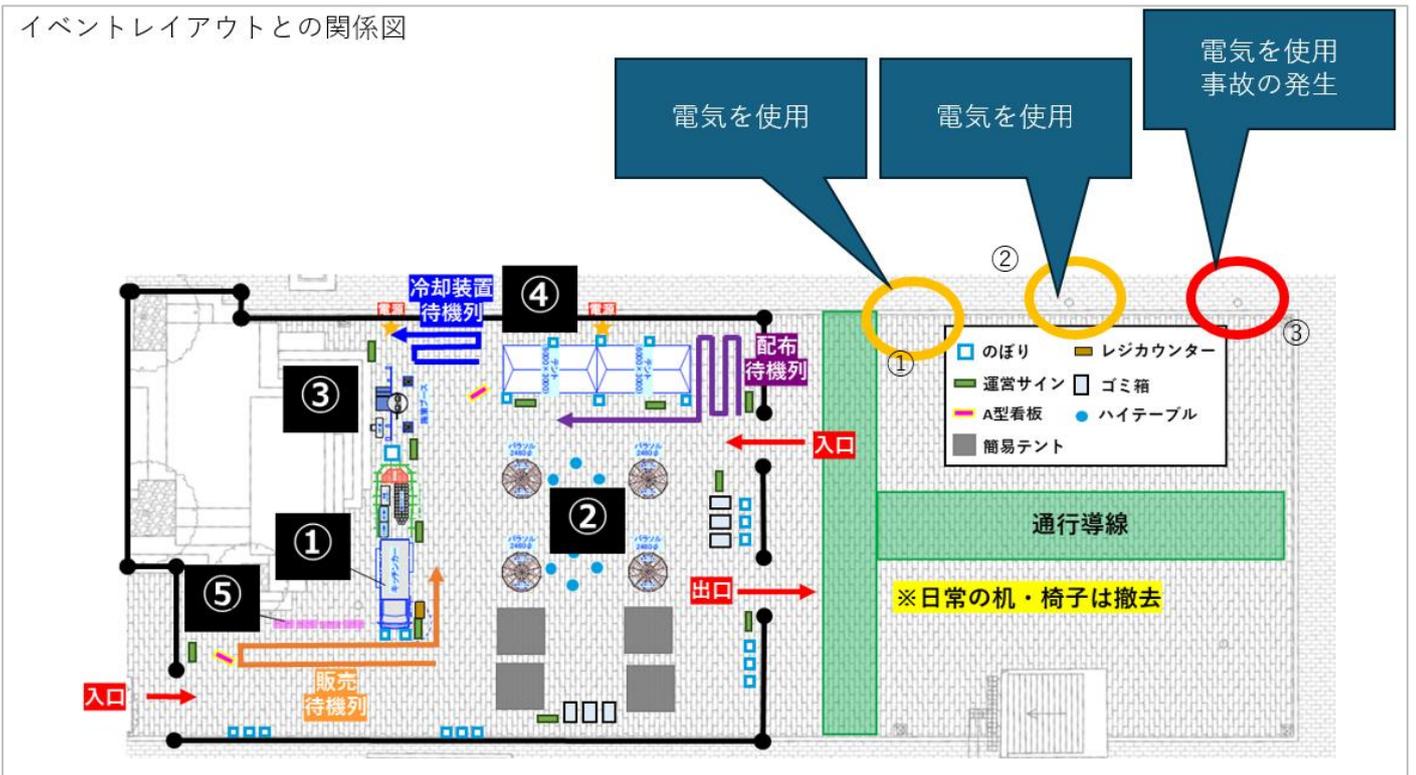
以上

平面図

- ・ イベント主催者が、なんば広場の北東部の①～③の照明柱付近にて、照明柱に電源ケーブルを接続させ、路上及び側溝ケーブルを設置させ養生した。なお側溝の鉄製のグレーチングを、木製板で代替させた。
- ・ ③の部分において、木製板部分を通行した人が、板を踏み破り転倒した。



イベントレイアウトとの関係図



照明柱からの配線及びグレーチングの木製板の養生
(事故後の状況)



割れの様子



現在の対応の様子

転倒時の状況

